

# ごあいさつ



理事長 東原民範

平素より格別なご支援とご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

当金庫について、地域の皆様により一層のご理解をいただき、安心してお取引いただけますよう、ここに「からしんディスクロージャー誌2017」を作成いたしました。当金庫の経営方針や平成28年度の事業の概況、業務の内容、地域への貢献活動などについてご報告させていただきますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、平成28年度を振り返りますと、超高齢化や人口減少による潜在成長力の低迷といった構造的な要因を背景に、個人消費や設備投資は力強さを欠き依然として景気の足踏み状態が続いており地域社会の持続可能性が危惧される状態に陥っています。

当金庫の営業地域におきましても、人口増減の格差と少子高齢化が進んでおり地域経済規模の縮小が懸念されます。このような環境変化の中で、中小企業の厳しい現状を鑑み、地方経済の再生・活性化を目指し、地方自治体との連携強化を図っております。また、栃木県中小企業診断士会による経営相談会の開催やビジネスマッチングを目的とした「ものづくり企業展示・商談会2016」の共催、「とちぎ食と農の展示・商談会2017」の後援など、産学官連携を活用して経営支援に取り組みました。

平成29年度は経営3か年計画『地域活性による経営基盤強化に向けて』の最終年度であり「地域支援力の強化」と「経営基盤と組織力の強化」に重点的に取り組み、協同組織の地域金融機関として、会員・地域住民のみなさま、地方公共団体をはじめとした地域の関係諸機関との連携をさらに深め、地域経済の活性化、持続的な発展に寄与すべく役職員一同全力を挙げて営業活動に努めてまいります。

今後とも地域の事業者のみなさまや個人のお客様の資金ニーズに積極的に取り組み顧客サービスの一層の向上を図り、経営の健全性の維持・向上に努めてまいりますので、何卒変わらぬご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月